

## (1) 定期会合

**会員相互の情報提供や意見交換を活発に行い、参加各社のビジネスに繋げる**

- 自社紹介や意見交換・議論に十分な時間を割く
  - ✓ **自社紹介**  
新規加入会員による自社紹介や、各社での取り組みの紹介を通じ、会員同士の交流を図る。
  - ✓ **話題提供や意見交換・議論**  
昨今のビジネス課題を中心としたテーマ設定や、気象ビジネス関連の話題提供を元に、気象データの活用可能性や気象ビジネスの関わりなどについて意見交換・議論を行う。
- WG会合を定期的を開催する
  - ✓ 約3か月に1回のペースで年に3~4回開催
  - ✓ 対面とオンラインのハイブリッド開催を検討（2023年度にも実施）

## (2) 普及啓発

**気象ビジネスの裾野を広げ、交流を促す活動に取り組む**

- 気象データのビジネス活用セミナー
  - ✓ 人材育成WGと共同企画し、気象データの活用事例を通じた普及啓発を促進する。
  - ✓ 前年度に引き続きオンライン開催とし、全国からの参加を可能とする。

<次ページへつづく>

## (2) 普及啓発 <つづき>

- 気象データの利活用事例集の拡充
  - ✓ WXBCホームページ上に、利活用事例に関するインタビュー記事を掲載（令和5年度から）  
企業の課題や分析方法、効果など、現場のリアルな声に重点を置いて紹介。  
<https://www.wxbc.jp/exampleandinterview/>
  
- 法人会員のサービス紹介
  - ✓ WXBCホームページ上で、法人会員が自社サービスを紹介するページを運営（令和5年度から）  
気象情報の提供や分析、気象データを活用したビジネスなどを掲載する。  
サービス提供企業ホームページへの遷移を促す造りとする事で、ユーザ企業とのマッチングも促進  
<https://www.wxbc.jp/memberserviceintroduction/>
  
- 他機関との連携
  - ✓ 他機関主催イベントを活用した情報発信を行う。
  - ✓ 他機関との共催によるセミナー等イベントの開催も視野に入れる。

→普及啓発全体を通して、気象データ利用ガイド（令和5年度作成）の更新にも貢献